

2025年5月20日

人権尊重・コンプライアンスに関する調査結果と取り組みについて

社内調査

当社では、フジテレビの問題を受け、以下の通り社内調査等を行いました。

- 1月 アナウンサーを同席させた会食でのトラブル（不適切な事案）の有無等を調査し、問題は確認されませんでした。
- 1月 社内外に設置している通報・相談窓口（匿名可）及び当社コンプライアンス方針を全社員・スタッフ（関連会社等含む・以下同）に改めて周知を行いました。
- 2月 全社員・スタッフに対し、人権尊重やコンプライアンス遵守について注意喚起を行い、過去を含め問題があった場合は通報・相談窓口に届け出るよう呼びかけました。

さらに4/25から5/12までの期間で、ウェブに回答を入力するアンケート調査を無記名で実施し、対象となる全社員・スタッフ約160人のうち約130人から回答がありました。

その結果、フジテレビの問題と同様の重大な事案は確認されませんでした。しかし、過去の会食でのハラスメントや注意喚起が必要と考えられる事案等が複数件報告されました。

当社の対応

当社では、倫理・コンプライアンスを確立するため「コンプライアンス行動規範憲章」を定め、法令遵守や人権尊重を宣言しています。

それにも関わらず2023年に発覚した当社の不祥事を重く受けとめ、匿名可能な通報・相談窓口を社内外に設置したほか、法務・監査室の新設、コンプライアンス研修の実施、社会貢献活動の実施など、社員一丸となって再発防止、信頼回復に努めています。

このほど実施したアンケート調査では、過去における事案等が複数件報告されたことから、対応が必要とされる事案には会社として毅然と対応するとともに、今後も定期的に調査を実施し、問題の発生防止、早期発見、迅速な対応を図ります。また、改めて社員・スタッフを守るという意識を強く持ち、仕事や職場の環境整備に取り組みます。そして、あらゆるハラスメントを排し、人権を尊重する企業であり続けるために、今後も継続的な社内制度の構築・改善や社員研修などを通じ、人権尊重・コンプライアンス徹底に全力で取り組む方針です。